

市長
矢

しおかぜ通信

謹賀新年

笠岡市長 高木直矢

新年明けましておめでとうございます。皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私は、笠岡市の発展に市民の皆様が必要と考える、笠岡湾干拓地の有効活用、働く場の確保、財政の健全化、高齢者福祉、障害者福祉、医療・介護の充実、子育て支援などの事業に対し、「選択と集中」の予算配分を行い、市民と市役所が協働で、わかり易い、打てば響く、そして力強い笠岡市づくりを行っていく所存でございます。

一つ目として私は、笠岡湾干拓地内の粗飼料基地について、牧草栽培だけでなく多目的に有効活用していくことが笠岡市の発展に欠かせないことであると考えています。現在、笠岡湾干拓地へ農業関連企業二社の進出が実現していますが、今後も企業の農業参入やバイオマス活用など、さらなる展開を図って多目的な活用を促進していきたいと考えています。

次に、現在ある都市計画の市街化区域と市街化調整区域の線引き廃止を実現したいと考えております。それぞれの地域に目的を持たせ、都市基盤の整備を計画的に進めて、地域の特性にあったまちづくりを進めていくことが必要であると考えています。

三つ目として、自主性と自己責任において地域の特性にあった個性的な施策を展開し、地方自治の確立を目指すための、確固たる行財政基盤の確立を図っていききたいと考えています。

私は、これらを含めた本市を取り巻く諸課題に対し、腰を据え、真正面からじっくりと取り組み、道を切り拓いていこうと思っております。そして、先の見えない混迷の時代ではありますが、「活力ある福祉都市」を実現するという信念を持って本年も力を尽くしてまいりたいと考えています。

